

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	観光課長	廣川 正	
市民-05	重点事業	観光施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光課(観光商工課)
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針	安全で快適な観光空間の整備	

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	観光基盤施設を整備し、観光客が安全で快適に観光できる受入環境の整備を図るため。
効果	観光消費の増大による既存産業の活性化、雇用機会の拡大等の経済的効果や、市民の誇りや郷土愛の醸成、観光客の定住促進等の社会的効果を通じて、地域の活性化につながる。

2 平成29年度に実施した事業の概要

観光案内板等の新設・改修・修繕を行った。 公衆トイレの修繕を行い、清潔で快適な空間確保に努めると共に、ハイキングコースの安全の確保を行った。 東京オリンピック・パラリンピックの開催を視野に入れ、訪日外国人の利便性向上を目指し、屋内型Wi-Fi接続設備への補助事業を行った。 鶴岡八幡宮裏公衆トイレの修繕を行った。妙本寺公衆トイレの改修工事を行った。光触寺トイレの洋式化を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	65,165	66,425	当初予算(千円)	155,395		
	国県支出金	12,080	1,481	国県支出金			
	地方債		15,700	地方債	69,600		
	その他	10,890		その他	16,032		
	一般財源	42,195	49,244	一般財源	69,763		
事業経費運営	人員配置数	1.0	1	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	8,245	8,741	人件費(千円)	8,971		
	総事業費(千円)	73,410	75,166	総事業費(千円)	164,366		
	市民1人当りの経費(円)	415	426	市民1人当りの経費(円)	932		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 公益社団法人鎌倉風致保存会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	快適な観光受入れ環境を整えるため、屋内型Wi-Fi接続設備の促進支援を図るとともに、民間が行う公衆トイレの整備に対する費用助成を行う。
	事業へ統合				

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	観光客の利便性向上を図る屋内型Wi-Fi接続設備の設置を促進するため。老朽化した公衆トイレの修繕など施設整備にかかる経費が増大しているため。
----------	---	--------------------	--

総評(評価に対する考え方、根拠等)	施設整備については、既存施設の耐久性を確認し、計画的な取り組みを進め長寿命化を図る。また、未整備地域においては、利用ニーズを見極め設置に向けた検討を図る。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	観光客の集中する地域のトイレの新設、改修、洋式化については、用地や財源の確保を検討する必要がある。 また、「鎌倉市公衆便所建設工事費等補助金交付取扱要綱」をより活用してもらうような周知啓発を行っていく必要がある。 ハイキングコースについては、引き続き、落石や倒木などの危険箇所の把握と整備を実施していく。 Wi-Fi環境整備事業は、屋内型Wi-Fiを中心として、Wi-Fi接続設備の拡大を図る必要がある。
課題解決のために行った平成29年度の取組	八幡宮裏公衆トイレの改修を行った。国の補助金を活用し、妙本寺に公衆トイレを設置した。 ハイキングコースについては、適宜倒木・枯れ枝の処分や危険標識テープの貼り付けを行った。 Wi-Fi環境整備として屋内型Wi-Fi機器設置に対する補助金制度を設けた。
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、観光施設の整備を行うとともにハイキングコースの適切な管理を図る。 Wi-Fi環境整備についても引き続き、設置に向けた取り組みを進める。

- 解決  
 一部解決  
 未解決

◎ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成28年度) 単位:千人								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	21,285	18,648	2,861	7,296	5,943	8,251	1,015	6,017	46,017

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ数の観光客が訪れており、他市町村に比べ多いことが伺える。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		平成29年度 数値調査件数：511件 +18件 (WEB)
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%		85.0%	85.0%		
	実績値	79.2%	79.5%	76.6%	76.9%					
	達成率	93.2%	93.5%	90.1%	90.5%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	目標とした数値に近い結果となっていることから、引き続き維持または向上させるよう努めたい。
-----------------------	--